

ほっと♡ぼらんていあ

発行：  社会福祉法人 曾於市社会福祉協議会

平成 24 年 10 月 15 日 発行

〒899-4101 曾於市財部町南俣 504-1 (財部保健福祉センター内)

TEL : 0986-72-0460 FAX : 0986-72-0425

E-mail : sohokubu-shakyo@dream.ocn.ne.jp

URL : <http://soo-shakyo.or.jp/>

第14号

特集② サマーボランティア体験活動

毎年、7～8月の夏休み期間を利用して、市内の福祉施設にご協力をいただき、ボランティア体験活動に多くの児童・生徒の参加をいただいています。今年も曾於市内 16 か所の福祉施設に受入れをしていただき、小学生 160 名、中・高校生 68 名が、福祉やボランティア活動について、学ぶ機会となりました。

中高生のプログラム「施設体験&スキルアップコース」

続けることに喜びを感じて

中・高生のプログラムでは、事前にそれぞれ自分の活動目標を立て、その目標に向かって活動に取り組みました。

保育園児や施設利用者の方々とのふれあいを通して「園児の嬉しそうな顔を見ると、自分も笑顔になれました」「普段、高齢者の方と接する機会の少ないので、活動に参加できてよかった」「一緒にいるだけでも嬉しそうな顔をする方がいて、会話だけがコミュニケーションではないということ学びました」など、さまざまな学びと新たな発見につながる機会となったようです。



受入れ施設との
オリエンテーション



昔の話や趣味について
語りました



一緒に楽しい時間を
過ごすことができました



自分の目標に向かって
がんばります！！



サマーボランティア体験活動に参加して

財部中学校 2年 橋本 綺良々 きらら

初めて、しゃら保育園での体験活動に参加しました。

私は、まだ将来の夢がはっきり決まっていないので、将来のことを考えるチャンスだと思い、しゃら保育園での体験活動に申し込みました。

先生たちの仕事の様子をみていると、すごく大変だなあといい、自分に向いているのかと不安にもなりました。

私は、小さい子ども達と触れ合う機会が全くないので、どう対応したらいいのか、何をしたら喜んでくれるのかとはじめは心配でしたが、子ども達はみんな私になついてくれて、子ども達の笑顔や無邪気な様子を見ていると、元気づけられました。また、自分にもこんな頃があったんだと懐かしく感じられました。

子ども達の世話は何にもできませんでしたが、自分でできることを頑張ったつもりです。この体験活動を将来に活かせるように、これからもいろいろなことを学んでいきたいです。

ボランティアの心得

1. 身近なことから

私たちの身のまわりを見直し、気がついたところから手がけ、まずできることから始めましょう。

2. 相手の気持ちになって

ボランティア活動は自分勝手であったり、押し付けであったりしてはいけません。常に相手の気持ちを考えながら活動しましょう。

3. 約束や秘密は必ず守る

訪問日時、援助内容、どんな小さなことでも相手との約束は必ず守りましょう。また、活動を通して知った相手の秘密や個人の情報などのプライバシーも守るようにしましょう。

4. 自分を成長させる

ボランティア自身が持っている知識や技能を社会に役立てるためには、研修や学習をおこたらず、自分自身を成長させるようにしましょう。

5. 無理せず続ける

無理をすると長続きしません。自分の生活のリズムを考えて余裕を持って計画を立てましょう。無理なときは、はっきり断る勇気も必要です。

6. 安全に気をつける

自分がけがをしたり、相手を傷つけたり、物品を壊したりすることのないよう安全には十分注意しましょう。万一に備えて、ボランティア活動保険に必ず加入しましょう。

曾於市社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター発行「私のおもしろ手帳」より



REPORT

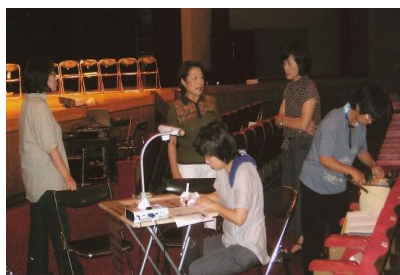
要約筆記サークル「サンライト」

困っている方のお役に立ちたい！

曾於市総合大学 要約筆記を受講した6名で、2年前から活動しているサークルです。困っている方々のお役に立ちたいという強い思いで、心をひとつに月2回の練習にも熱が入っています。

地区集会、講演会、入学・卒業式、PTA行事への参加や病院等へ出かけたいが、耳が聞こえづらい、聞こえない等の症状で不便さを感じて、お困りの方は諦めないで、気軽に声をかけてください。私たちがお手伝いいたします。現在は、曾於市社会福祉大会や地区行事にて積極的に活動中です。講演会などの多数参加の会合では、プロジェクターでスクリーンに投影します。個人（1～2名）の場合は、ノートに話し言葉を文字にしてお伝えします。守秘義務がありますので、依頼者の内容は、口外することはありませんので、ご安心ください。

また、要約筆記の活動者も募集中です。ご興味のある方は、曾於市社会福祉協議会末吉支所へお問い合わせください。
(TEL: 0986-76-2224)



要約筆記サークル「サンライト」
代表 照井 頼子

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償
- 熱中症(日射病・熱射病)による障害も補償
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償
- 地震など天災によるケガも補償
(天災タイプご加入の場合)

年間 Aプラン…280円
保険料 Bプラン…420円
天災タイプもあります。



※各プランの補償金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご用意しております。お問い合わせ・お申込みは、右記の各地域ボランティア・市民活動センターをお尋ねください。

ボランティアに関するお問い合わせは

あなたのまちのボランティア・市民活動センターへ

ボランティア活動保険
について知りたい

ボランティアを
してみたいけど・・・



ボランティアを
お願いしたい

社会福祉法人 曾於市社会福祉協議会

財部地域ボランティア・市民活動センター TEL 0986-72-0460

末吉地域ボランティア・市民活動センター TEL 0986-76-2224

大隅地域ボランティア・市民活動センター TEL 099-482-3013